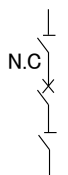
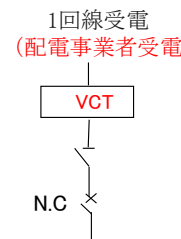


鉄道電気概論 配電・電灯電力シリーズ 6 「配電・電灯電力一般」 正誤表 (2023. 01. 05)

配電・電灯電力技術委員会

ページ	章・項目	行 等	誤	正
6	2. 2. 1 (1) ア	2行目	電圧が小さく	電圧が <b>低く</b>
8	表1. 2. 3 最下部	下から3行目	ただし、同一構内で1から5の設備が	ただし、同一構内で1から <b>6</b> の設備が
10	2. 2. 3(4)	表1. 2. 4の下 4行目	主任技術者免除の交付	主任技術者 <b>免状</b> の交付
13	2. 4	3行目	災害の発生を	災害の発生 <b>の</b>
17	2. 7(3)エ	1行目	公益不適當	公益 <b>上</b> 不適當
19	2. 9. 1	5行目	給水、排気、換気	給水、 <b>排水</b> 、換気
22	2. 9. 2 (2) カ	3行目	地下に乗降を有するもの	地下に乗降 <b>場</b> を有するもの
24	1行目	表1. 2. 15 備考欄	表中記号－は否認	表中記号－は <b>否適用</b>
25	2. 9. 3(4)	5行目	表1. 2. 17の <b>よう</b> に電圧に対し	表1. 2. 17の電圧に対し
33	2段目	表1. 2. 22 取得方法欄	登録試験	<b>試験/実務経歴</b>
37	1回線受電	図1. 3. 1	<p>1回線受電</p> 	<p>1回線受電 (配電事業者受電)</p> 
50	1. 4. 3. 1(1) ウ	2行目	かつ確実に投入	かつ確実に <b>遮断</b>
	1. 4. 3. 1(3) ア	3行目	表1. 4. 6	表1. 4. <b>7</b>
76	1. 5(2)	7行目	酸素温度を下げて	酸素 <b>濃度</b> を下げて
83	図1. 6. 3	図7. 3 ガスタービン発電機		エネルギー源「 <b>灯油</b> 」を追記
85	1. 6. 5. 1(2)	2行目	吸気装置、換気装置	吸気装置、 <b>排気</b> 装置
101	ケ. 減速機	6行目	数千rpm/minと速く、	数千 <b>rpm</b> と速く、
	ク. 減速機	6行目	3, 600rpm/min程度に	3, 600 <b>rpm</b> 程度に
104	7. 1. 1(2) ア	2行目	・・・ <b>直流</b> に変え <b>ま</b> ず。・・・	・・・ <b>直流</b> に <b>変換</b> し <b>ま</b> ず。・・・
108	1. 7. 1(3)	下から2行目	比重1. 2 <b>15</b>	比重1. 2
113	7. 2. 4(2) ア	上から4行目の化学反応式	Pb+S04 →	酸素と鉛が反応して、一酸化鉛が生成するので正しくない
116	1. 7. 2. 6	図1. 7. 29		図中に <b>アノード</b> を追加
118	7. 5 太陽光発電システム	本文2行目	電子はp側へ、正孔はn側へ	電子は <b>n</b> 側へ、正孔は <b>p</b> 側へ
119		図1. 7. 37	減速機	<b>増速</b> 機
127	8. 4	2 行目	・・・主として系統運用上の送電切替、	・・・主として系統運用上の <b>配電</b> 切替、

ページ	章・項目	行 等	誤	正																																																																																																																		
129	8. 6	下から4行目	②変圧器絶縁破壊検知器	②絶縁破壊検知器																																																																																																																		
135	10	下から1行目	(4)イ. 個別試験は、上記(a)の試験項目毎に選択して試験します。	(4)イ. 個別試験は、上記(ア)の試験項目毎に選択して試験します。																																																																																																																		
135	1. 10. (4)イ	下から1行目	上記(a)	上記(ア)																																																																																																																		
136		表1.10.1	<p>表11.2 検測のできる内容と範囲</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験内容 器具番号</th> <th colspan="4">検測内容</th> <th rowspan="2">試験台数</th> <th rowspan="2">故障表示</th> </tr> <tr> <th>内容</th> <th>遮断器</th> <th>記録内容</th> <th>判定 (注4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遮断器52</td> <td>—</td> <td>入切の良否</td> <td>動作時間</td> <td>OK・NG</td> <td>2以内</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>不足電圧27</td> <td>110Vのオンオフ</td> <td>—</td> <td>//</td> <td>//</td> <td>4以内</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>過電流51</td> <td>整定値の150%、300%</td> <td>切の良否</td> <td>//</td> <td>//</td> <td>4以内</td> <td>重故障</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地絡関係 67,64,51G</td> <td>D</td> <td rowspan="2">(注1)</td> <td>切の良否</td> <td>//</td> <td rowspan="2">3以内</td> <td>重故障</td> </tr> <tr> <td>L</td> <td>—</td> <td>//</td> <td>軽故障</td> </tr> <tr> <td>過電圧59 (注2)</td> <td>150Vのオンオフ</td> <td>(切の良否)</td> <td>—</td> <td>//</td> <td>1</td> <td>重故障</td> </tr> <tr> <td>再開路79 (注3)</td> <td>運動の有無</td> <td>入切の良否</td> <td>//</td> <td>//</td> <td>1</td> <td>重故障</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 地絡過電圧関係64 : 110Vのオンオフ  地絡方向関係67 : <math>V_0</math>110V基準、<math>I_0</math>整定値の150%、300% 45度  地絡過電流関係51G : <math>I_0</math>整定値の150%、300%</p> <p>(注2) 遮断器の(切の良否)は、き電用遮断器を指す。  (注3) 過電流継電器との運動とし再開路回数は3回以内。  (注4) 継電器付勢後、予め入力した動作時間の120%を超えた場合にNG表示。  遮断器は付勢後30秒以内に応動がないとき不応動扱いで試験終了。</p>	試験内容 器具番号	検測内容				試験台数	故障表示	内容	遮断器	記録内容	判定 (注4)	遮断器52	—	入切の良否	動作時間	OK・NG	2以内	—	不足電圧27	110Vのオンオフ	—	//	//	4以内	—	過電流51	整定値の150%、300%	切の良否	//	//	4以内	重故障	地絡関係 67,64,51G	D	(注1)	切の良否	//	3以内	重故障	L	—	//	軽故障	過電圧59 (注2)	150Vのオンオフ	(切の良否)	—	//	1	重故障	再開路79 (注3)	運動の有無	入切の良否	//	//	1	重故障	<p>表11.2 検測のできる内容と範囲</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験内容 器具番号</th> <th colspan="4">検測内容</th> <th rowspan="2">試験台数</th> <th rowspan="2">故障表示</th> </tr> <tr> <th>内容</th> <th>遮断器</th> <th>記録内容</th> <th>判定 (注4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遮断器52</td> <td>—</td> <td>入切の良否</td> <td>動作時間</td> <td>OK・NG</td> <td>2以内</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>不足電圧27</td> <td>100Vのオンオフ</td> <td>切の良否</td> <td>//</td> <td>//</td> <td>4以内</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>過電流51</td> <td>整定値の150%、300%</td> <td>切の良否</td> <td>//</td> <td>//</td> <td>4以内</td> <td>重故障</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地絡関係 67,64,51G</td> <td>D</td> <td rowspan="2">(注1)</td> <td>切の良否</td> <td>//</td> <td rowspan="2">3以内</td> <td>重故障</td> </tr> <tr> <td>L</td> <td>—</td> <td>//</td> <td>軽故障</td> </tr> <tr> <td>過電圧59 (注2)</td> <td>整定値</td> <td>入切の良否</td> <td>—</td> <td>//</td> <td>1</td> <td>重故障</td> </tr> <tr> <td>再開路79 (注3)</td> <td>運動の有無</td> <td>入切の良否</td> <td>//</td> <td>//</td> <td>1</td> <td>重故障</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 地絡過電圧関係64 : 100Vのオンオフ  地絡方向関係67 : <math>V_0</math>100V基準、<math>I_0</math>整定値の150%、300%、スミ45度  地絡過電流関係51G : <math>I_0</math>整定値の150%、300%</p> <p>(注2) 過電流継電器との運動とし再開路回数は3回以内。  (注3) 継電器付勢後、予め入力した動作時間の120%を超えた場合にNG表示。  遮断器は付勢後30秒以内に応動がないとき不応動扱いで試験終了。</p>	試験内容 器具番号	検測内容				試験台数	故障表示	内容	遮断器	記録内容	判定 (注4)	遮断器52	—	入切の良否	動作時間	OK・NG	2以内	—	不足電圧27	100Vのオンオフ	切の良否	//	//	4以内	—	過電流51	整定値の150%、300%	切の良否	//	//	4以内	重故障	地絡関係 67,64,51G	D	(注1)	切の良否	//	3以内	重故障	L	—	//	軽故障	過電圧59 (注2)	整定値	入切の良否	—	//	1	重故障	再開路79 (注3)	運動の有無	入切の良否	//	//	1	重故障
試験内容 器具番号	検測内容				試験台数	故障表示																																																																																																																
	内容	遮断器	記録内容	判定 (注4)																																																																																																																		
遮断器52	—	入切の良否	動作時間	OK・NG	2以内	—																																																																																																																
不足電圧27	110Vのオンオフ	—	//	//	4以内	—																																																																																																																
過電流51	整定値の150%、300%	切の良否	//	//	4以内	重故障																																																																																																																
地絡関係 67,64,51G	D	(注1)	切の良否	//	3以内	重故障																																																																																																																
	L		—	//		軽故障																																																																																																																
過電圧59 (注2)	150Vのオンオフ	(切の良否)	—	//	1	重故障																																																																																																																
再開路79 (注3)	運動の有無	入切の良否	//	//	1	重故障																																																																																																																
試験内容 器具番号	検測内容				試験台数	故障表示																																																																																																																
	内容	遮断器	記録内容	判定 (注4)																																																																																																																		
遮断器52	—	入切の良否	動作時間	OK・NG	2以内	—																																																																																																																
不足電圧27	100Vのオンオフ	切の良否	//	//	4以内	—																																																																																																																
過電流51	整定値の150%、300%	切の良否	//	//	4以内	重故障																																																																																																																
地絡関係 67,64,51G	D	(注1)	切の良否	//	3以内	重故障																																																																																																																
	L		—	//		軽故障																																																																																																																
過電圧59 (注2)	整定値	入切の良否	—	//	1	重故障																																																																																																																
再開路79 (注3)	運動の有無	入切の良否	//	//	1	重故障																																																																																																																
140	イ. 高圧配電線路	7行目	配電電圧を高くすれば	配電電圧を <b>2倍</b> にすれば																																																																																																																		
142	1. 2. 3(2)	6行目	インテグレート化	簡素・統合化																																																																																																																		
149	2. 5. 1	2行目	腕金は、亜鉛メッキした・・・	腕金は、 <b>溶融</b> 亜鉛メッキした・・・																																																																																																																		
163	②	3行目	土木	土木 (つちに訂正)																																																																																																																		
183	用途別分類 配電用	表10. 1	需用家の負荷に	需要家の負荷に																																																																																																																		
184	8. 4. 1(1)ウ	2行目	輸送中の衝撃	輸送中の <b>衝撃</b>																																																																																																																		
185	8. 4. 1(3)イ	3行目	絶縁油が体膨張、収縮を	絶縁油が <b>膨張</b> 、収縮を																																																																																																																		
	8. 4. 2	本文下2行目	また温度計、油面形を取付け、	また温度計、油面 <b>計</b> を取付け、																																																																																																																		
186	8. 5. 2	5行目	現行のJIS規格 (JIS4304) では	現行のJIS規格 (JIS <b>C</b> 4304) では																																																																																																																		
	8. 5. 1	図2. 8. 5	図2. 8	図2. 8. 5																																																																																																																		
190	9. 1	上から9行目	共用接地、接地、極間隔	共用接地、接地、極間隔																																																																																																																		
202	1. 9. 5(1)②ア.	1行目	前①号に順する他	前①号に <b>準</b> じる他																																																																																																																		
	1. 9. 5(1)②イ.	1行目	同等以上の絶縁抗力のある	同等以上の絶縁 <b>効</b> 力のある																																																																																																																		
206		図3. 1. 22 凡例	B3 : 分岐回路の過電流遮断	B3 : 分岐回路の過電流遮断 <b>器</b>																																																																																																																		
212	3. 2. 3	下から9行目	図2. 11	図 <b>3. 2. 11</b>																																																																																																																		
220	3. 6	下から3行目	低圧配線工事 <b>図</b>	低圧配線工事																																																																																																																		
229		図3. 4. 7	MCB : 配線用遮断器	M <b>CCB</b> : 配線用遮断器																																																																																																																		
234	単相100V接地極付の欄	表3. 4. 4	125A 20A	125 <b>V</b> 20A																																																																																																																		

ページ	章・項目	行 等	誤	正
234	単相200V接地極付の欄	表4.4.4	25V 20A	125V 20A
263	2.9	表4.2.5特徴欄4行目	動程特性	動的特性
266	2.10(1)	下から2及び4行目	電流が片方のみ流れる	電流が片方 <b>向</b> のみ流れる
284	3.3(1)オ	4行目	第1の(六) 項口	消防法施行令別表第1の(六) 項口
286	3.4	3行目	耐 <b>食</b> 形照明器具	耐 <b>蝕</b> 形照明器具
290	4.2(2)イ	4.2(2)イ	図中の配線	電源側と負荷側入力線を単独とする。
298	5.3(2)ア	4行目	保安しやすい	保 <b>守</b> しやすい
	5.3(2)ア	6及び7行目	保護網付の <b>ピット用蛍光灯</b> を標準としますが、	保護網付を標準としますが、
304	5.7	2行目	ヤード関係	ヤード <b>(貨物操車場)</b> 関係
314	3.1.1	下から1行目	図5.3.1に、LED式入切表の例を示します	図5.3.1に、LED式き電入切 <b>標</b> の例を示します
315	2.2	1行目	長大トンネルには、500m間隔に・・・	長大 <b>及び準長大</b> トンネルには、500m間隔に・・・
335	5.3.2	3行目	図のように、①送風機	図5.5.8のように、①送風機
336	温度耐量	表5.5.3	加熱防止機能を停止させて	<b>過</b> 熱防止機能を停止させて
342		図5.5.16	降雪強度信号 S0～S4	降雪強度信号 S0～S <b>3</b>
		図5.5.16	気温信号 T0～T4	気温信号 T0～T <b>3</b>
345	6.1.2		フェールセーフの観点から、LED式ではき電用断路器が「入」表示のときは「無表示」(「入」表示も無表示としています)を表示させています。	フェールセーフの観点から、 <b>断路器からの操作用電源が途絶えた場合は、「入」の文字を表示します。ただし、入切表示器の表示用電源が途絶えた場合は「無表示」となります。</b>
	5.1.4	1行目	入切表示器	き電入切 <b>標</b>
349	5.3.3	下から2行目	軽井沢トンネル	<b>碓氷峠</b> トンネル
	6.3.2	5行目	・・・CVTを側壁の最上部(施工基面より3,000mm以上)に・・・	・・・CVTを側壁部 <b>(レール面RL)</b> より3,000mm以上)
		図5.6.10	灯具間隔15m、コンセント箱45m	灯具間隔15m <b>(電子安定器の場合は20m)</b> 、コンセント箱45m <b>又は100m</b>
350	6.3.3(1)	3行目	・・・、15m間隔の千鳥配置としています。	・・・、15m間隔 <b>(電子安定器の場合は20m)</b> の千鳥配置としています。
351	6.3.4(2)	2行目	長大トンネルにおける・・・	長大 <b>及び準長大</b> トンネルにおける・・・
354		表5.7.1 光センサ	アバランシェフォトダイオード、PSD、太陽電池、CdSセル、CCD、COMS	ア <b>バ</b> ランシェフォトダイオード、PSD、太陽電池、CdSセル、CCD、 <b>CMOS</b>
361	7.5	図5.7.9の上	光ポンピング磁束形があります。	光ポンピング磁束 <b>計</b> があります。
奥付	最終ページ	ISBN番号	ISBN 978-4-904691-52-6	ISBN 978-4-904691- <b>87-8</b>